

公 表

第4回若年者ものづくり競技大会 「機械製図（CAD）」大会運営Q & A

1. 失格条項

- (1) 解答図と電子データ（USB メモリー）が提出されない場合.
- (2) 競技中に不正行為や競技委員の指示に違反した場合など.

2. 会場設備およびパソコン

2.1 競技会場

Q 1 競技会場の広さは？

競技会場は5月末現在、**未定**.

Q 2 停電時の対策は？

無停電電源装置(UPS)は設置しないので、データを頻繁に保存するなどして予防すること。万が一に備えて UPS を持参してかまわない。選手個人のトラブルによるロスタイムは考慮しない。

2.2 パソコン

Q 1 会場に設置されているパソコンとプロッタの仕様を知りたい。

1 台のレーザプリンタ（A3 サイズ）に LAN 接続されたデスクトップパソコンが 2 台あり、このシステムはスタンドアロンである。

Q 2 選手が準備するパソコンはデスクトップ型、ノート型のどちらか？

どちらでもよいが、停電や故障対策を怠らないこと。

Q 3 パソコン及び持参工具を宅配便で事前に搬入したいが、いつから可能か？

8 月 6 日（木）10:00～12:00 に、時間指定で配達すること。送付先は、**決まり次第通知する**。

Q 4 競技に使用するパソコン類を事前に設定したい。

パソコンの設定は 8 月 6 日（木）14:00～16:30 となっている。その時間帯を利用して、設定と出力確認をお願いする。

Q 5 出力確認用のサンプル図面には何を持参すればよいのか？

出力の確認ができる図面なら何でもかまわないが、せいぜい 1 分程度で印刷が完了する程度の図面（電子ファイル）であること。

Q 6 出力確認の打ち切り時刻（6 日 16:30）までに正常に印刷できない場合はどうするのか？

未完了のまま終了し、翌日の競技は選手個人が対処する。

Q 7 持参するCADソフトで使用するフォントの設定は？

AutoCAD DWG ファイルを印刷する場合、印刷設定ファイルには極力、特殊な線種・フォント

を用いないこと。DXF ファイルについては、正常に出力できるよう、印刷設定ファイルを調整しておくこと。印刷設定ファイルは、競技前に貸与した USB メモリーに保存しておくこと。

Q 8 AutoCAD Mechanical のバージョンが会場に設置されるバージョンと異なるが問題はないか？

保証できない。Autodesk 社から体験版（使用期限 1 カ月）を無償で提供してくれるので、入手して確認しておくこと。

Q 9 3D-CADを使用してもよいか？

CAD ソフトの種類は問わないが、解答図は「持参工具一覧表」で指定されたファイル形式で作成されていること。

Q10 図面印刷用のパソコンへはUSBメモリー以外でデータ入力できるのか？

解答図は、主催者から貸与された USB メモリーに保存してプリンタに出力するので、他のメディアは認めない。選手が持参するパソコンには USB 端子が付いていること。

Q11 会場に準備されているパソコンに、持参するCADソフトをインストールして印刷したい。

認めない。

2.3 競技課題

Q 1 課題は非公表か？

当日公表である。

Q 2 課題図および解答図のサイズは？

両方とも A3 サイズである。

Q 3 課題図は第三角法で描かれた組立図が紙で与えられ、それに基づいて任意の部品の製作図面を作図するのか？

その通りである。

Q 4 課題図の寸法はスケールで測定するのか？

その通りである。

Q 5 解答図の図面枠は事前に用意しておくのか？

JIS Z 8311:1998「製図－製図用紙のサイズ及び図面の様式」に順じて、A3 サイズの図面枠を事前に作成しておくこと。

Q 6 鑄肌面のフィレットおよびR部の一括表記をしてもよいか？

鑄肌面のフィレットおよび R 部の丸みについて、それらの大部分が同じ寸法である個所については「鑄造部の指示のない角隅の丸みは R○（○は丸みの半径）とする」と図中に注記して一括指示してもかまわない。

Q 7 表面性状の一括指示は可能か？

表面性状の簡略図示方法（「JIS B 0031:2003 製品の幾何特性仕様(GPS)―表面性状の図示方法」の図 23、図 24 または図 25）を用いて、除去加工以外の面を含めたすべての面に記入すること。

Q 8 断面図にハッチングは必要か？

断面図の切り口にハッチングを施しても施さなくてもよい。

Q 9 持参する CAD ソフトに、記号等を事前に登録しておいてよいか？

登録しておいてよい。

2.4 解答図の印刷

Q 1 図面の出力方法を知りたい。

各選手は、解答図を保存した USB メモリーを会場に設置されたノートブックパソコンに差し込み、それと接続されたレーザプリンタ（A3 判対応）で印刷する。

Q 2 選手はどのような順番で印刷するのか？

机上番号順に印刷する予定。会場に設置されているレーザプリンタを使用して、印刷時間（1 人約 2 分間）を限度として再印刷することができる。さらに、同時間内に出力できない場合は席次の最後に回って、再印刷することができる。

Q 3 出力する図面はカラーでもよいのか？

用紙に出力された図面は白黒（モノクロ）に限る。

Q 4 解答用紙はA3の大きさで、四周をそれぞれ10mmあけて輪郭線を引くことになっているが、プリンタとの関係でどうしてもずれて10mmとれない場合もあることが予想されるが、どのくらいの誤差まで許されるのか？

プリンタの機種の特性に依存する場合は不問とする。

Q 5 解答図の印刷中に文字化け等の不具合があったとき、図面を修正できるか？

印刷のやり直しは、レーザプリンタの尺度の設定ミス、図面のズレ・カスレなど、印刷にかかわる微調整のみとし、文字化け等の選手側のミスに起因する修正は認めない。

Q 6 データには出力されない線もあるが、残しておいてよいのか？

残っていてもよい。

Q 7 プリンタを持参したい。

解答図は原則として、会場に設置されたプリンタ（「持参工具一覧表」参照）で印刷すること。プリンタを持参する場合は、A3 タイプの印刷が可能であり、かつ、選手の作業エリア内に設置可能な機種を、選手一人につき 1 台持参してかまわない。ただし、1 台のプリンタを複数の選手で共用したり、競技中に使用したりすることを禁止する。

以上